

社会学部報

- ◇昭和46年10月27日 学部研究会 発表者本出祐之教授
「アイデンティティーについて」, J. ジョイス助教授
「DESIGN OF AN OXIDATION DITCH FOR A
JAPANESE DAIRY HERD」
- ◇11月16日 社会学部講演会, 講師パリ大学附属マス・
コミ研究所長 G. フリードマン氏 題目「マス・コミ
の社会学」
- ◇11月12日 杉山貞夫教授アメリカ留学を終えて帰学。
- ◇12月1日 学部研究会 発表者張光夫助教授「現実観」
についてのいくつかの問題」, 春名純人助教授「純粹
理性の理想」
- ◇昭和47年1月19日 「出会い」の社会学と題する大道
安次郎教授の最終講義が行なわれた。
て本年度第2回目のシンポジウムを行なった。
- ◇1月26日 学部研究会 「大学の理念」をテーマとし
て本年度第2回目のシンポジウムを行なった。報告者
小関藤一郎教授, 船本弘毅宗教主事。
- ◇3日1日 学部研究会 発表者大道安次郎教授「都市
の品格」

海外出張

- 中野秀一郎助教授 昭和46年12月22日より昭和47年1月
8日まで, 政治・社会状況視察と資料収集のため, 南
ベトナム共和国へ。
- 田中国夫教授 昭和47年3月2日より14日まで, ゼミナ
ールの調査実習のため, 沖縄本島および石垣島へ。

会員の新著

- 小関藤一郎助教授 デュルケーム家族論集 (訳編), 昭和
47年1月, 川島書店
- 清水盛光教授 集団の一般理論, 昭和46年6月, 岩波書
店
- 倉田和四生教授 人口と社会システム, 昭和46年6月
鹿島研究所出版会
- 武田 建助教授 嫌悪刺激による行動療法 (共訳), 昭
和46年10月, 岩崎学術出版社
- 真鍋一史助手 M. シェリフ, C.W. シェリフ編学際研究
(共訳), 昭和46年10月, 鹿島研究所出版会。

学界消息

◇日本社会学史学会

日本社会学史学会は数年前に小人数の有志研究グル
ープとして発足したが, その後入会希望者もましたので,
改めて正式の学会として発足することになり, その創立
総会が日本社会学会の第44回大会に先立って10月15日関
西学院大学社会学部で開催された。参加者40名ほどであ

ったが長老級の社会学者のほか若手の社会学者の参加も
目立って多くなっていた。総会では学会規約を審議, 決
定し, 会長に新明正道教授を選んだほか役員を選出を行
なった。大道安次郎教授が理事に選ばれた。次期大会は
東京で開かれる予定。

◇日本社会学会

10月16, 17の両日第44回日本社会学会大会を本学で開
催した。社会学部開設以来はじめて全国レベルの社会
学大会を開催したのであるが, 出席者は570名をこす非
常な盛況であった。東京以外で開かれた大会にこのよう
に多数の参加者があったのははじめてのことであった。
準備にあたった学部の関係者としてもこれは誇るべきこ
とであり, 労苦の報われたことを喜びとしている。

大会は一般研究のほかテーマ部会が六つ設けられ, ま
た第二日の午後はシンポジウムをもっという内容も豊か
なものであった。テーマ部会の主題は, A理論部会「ヨ
ーロッパ社会学の諸問題」, B政治部会「政治社会学の
構想と研究課題」, C地域部会「地域社会の変化と住民
運動」, D産業部会「産業化と国際比較」, E農村部会
「農村社会学のあり方をめぐって」, F数理社会学部会
「行動科学と数理社会学」であった。

シンポジウムは「国際比較の社会学」をテーマとした
が, それらを通じて日本社会学の著しい成長と充実が看
取された。本学からは一般研究で遠藤惣一助教授, 牧正
英助教授共同の「官庁の組織研究—地方官庁における実
証研究」があったほか, テーマ部会の数理社会学部会で
領家穰教授が阪大の西田助教授とともに司会にあたり
また萬成博教授が増田甲南大教授とともにシンポジウム
の司会にあたった。恒例の閉会の辞は小関藤一郎学部長
(大会副委員長)が行なった。大道安次郎教授が夫人の
急病のため止むなく出席されなかったが, 誠に残念なこ
とであった。御夫人の病気の一日も早く快復されんこと
を念願したい。

なお今回の学会では最近の学会にはなかった見学を第
三日(18日)に行なった。地元産業である酒造業の見学
を伊丹市の小西酒造の御好意によって実施できた。参加
者は50名ほどであったが伝統的産業の変化の実状を見学
でき大満足であった。

◇日本時事英語学会

昭和46年10月1, 2両日, 第13回年次大会が青山学院
女子短期大学で開かれ, 本学部から西尾朗教授が出席,
総会において学会理事に再選された。また, 12月11日開
催の関西支部役員会で, 同教授は関西支部長に再選され
た。